

入院療養体制の強化とワクチン接種の推進

令和4年 2 月 1 8 日
京都府

入院療養体制の強化

更なる受入病床を拡充

●オミクロン株による高齢者を中心とした感染者に対応するため、更なる受入病床を拡充

確保病床（2月1日）	
病院数	49病院
病床数	762床
重症病床	171床
高度重症病床	51床
中等症病床	475床
軽症・無症状病床	116床
入院待機ステーション （臨時の医療施設）	110床
合 計	872床



2月18日	拡 充
50病院	1病院
794床	32床
171床	
51床	
485床	10床
138床	22床
110床	
904床	32床

※他に妊婦等配慮を要する方の専用病床20床

ワクチン接種の推進

3回目接種対象者全員分のワクチンを確保

3回目接種のさらなる加速

- ・接種券の早期発行を市町村に要請
- ・十分な供給のもと、集団接種日程等の拡大を要請

ワクチンの供給予定（R4.2.15国通知）

接種ワクチン	ファイザー	モデルナ	合計
3回目接種対象者数	約157万人 (84%)	約30万人 (16%)	約187万人
京都府への供給合計	101.9万人分 (48%)	110.0万人分 (52%)	211.9万人分

学校・幼稚園・保育園教職員等への3回目接種の推進

警察職員に引き続き、京都府接種会場も活用し、接種を推進

京都タワー会場を1,000人／日→1,300人／日に拡充

子どもの安心・安全に向けた接種の推進

小児（5歳～11歳）へのワクチン接種の開始

- ・対象人口（府内約14.5万人）の8割分が4月末までに供給予定
- ・保護者が正しい知識のもと接種を判断できるよう、効果や安全性の情報を発信
- ・問診や介助にあたる医療従事者を派遣し、小児接種に必要な体制整備を支援